

議会だより

第65号

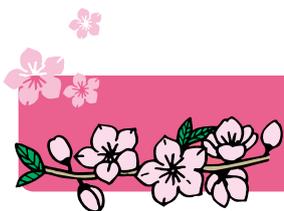
令和2年
4月30日発行

【主な内容】

1月～3月会議で決めたこと…2	視察報告 ……………10
令和2年度当初予算……………4	一般質問（8人が登壇）……11
委員会レポート……………8	市民の声……………15
ぎふ市へようこそ!! ……………9	議会だよりクイズ……………16

箱崎幼稚園の
園児たち

もうすぐ鯉のぼりの季節。のびのびとした元気な園児たちの声が、園庭いっぱいに響き渡ります。元気に大きくなあれ！



1月～3月会議で決めたこと



1月～3月会議で決まった主な事業を紹介します。

◆公の施設の指定管理者の指定について

市が所管する各施設の管理・運営について委託する。

○吉岐風民の郷

指定管理者：吉岐風民の郷振興会 会長 大西保夫

指定期間：令和2年4月1日～令和3年3月31日

◆第2期吉岐市子ども・子育て支援事業計画の策定について

平成26年度に「吉岐市子ども・子育て支援事業計画」を策定し、乳幼児期から小学生とその保護者を対象とした住民のニーズに応える教育・保育事業の体制づくり及び子ども・子育て環境の整備を積極的に進めているが、計画満了となることから、令和2年度を初年度として新たに策定する。

◆吉岐市教育委員会委員の任命について

現委員の辞職に伴い、橋川浩二氏（勝本町）の任命について同意した。

◆人権擁護委員候補者の推薦について

現委員の任期満了に伴い、大浦五九子氏（郷ノ浦町）、牧本行秀氏（郷ノ浦町）の新任推薦について了承した。

※審議結果をP3の「議案と審議結果一覧表」に示しています。

令和元年度 補正予算

一般会計の1～3月補正額計	△7億8,400万円
特別会計の1～3月補正額計	8,537万1千円
一般会計+特別会計補正後の予算総額	329億6,105万6千円

○令和元年度各会計予算一覧

(単位：千円)

会計名	現計予算額	1月補正額	3月補正額	補正後予算額合計	
一般会計	25,019,000	500	△784,500	24,235,000	
特別会計	国民健康保険	4,158,582	1,193	△248	4,159,527
	後期高齢者医療	331,677		4,927	336,604
	介護保険	3,548,346		93,614	3,641,960
	下水道	339,778		△14,115	325,663
	三島航路	116,521			116,521
	農業機械銀行	145,781			145,781
	合計	8,640,685	1,193	84,178	8,726,056
一般会計・特別会計の合計	33,659,685	1,693	△700,322	32,961,056	

○企業会計予算一覧

(単位：千円)

会計名	内訳	現計予算額	1月補正額	3月補正額	補正後予算額合計
水道事業会計	収益的収入	873,319			873,319
	収益的支出	863,050		△8,822	854,228
	資本的収入	195,329			195,329
	資本的支出	374,511		△14,000	360,511

議案と審議結果一覧表

開催月	議案番号	議 案 件 名	付託委員会	本会議採決結果	
1月	承認第1号	議案の撤回について	—	1/22	承認
	報告第1号	平成30年度沓崎クリーンエネルギー株式会社に係る経営状況の報告について	—	1/22	報告済
	議案第1号	令和元年度沓崎市一般会計補正予算（第7号）	省略	1/22	可決
	議案第2号	令和元年度沓崎市国民健康保険事業特別会計補正予算（第3号）	省略	1/22	可決
	議案第3号	公の施設の指定管理者の指定について（沓崎風民の郷）	省略	1/22	可決
	同意第1号	沓崎市教育委員会委員の任命について	省略	1/22	同意
3月	議案第4号	長崎県市町村総合事務組合を組織する地方公共団体の数の減少及び規約の変更について	総務文教厚生	3/16	可決
	議案第5号	沓崎市印鑑条例の一部改正について	総務文教厚生	3/16	可決
	議案第6号	沓崎市職員のサービスの宣誓に関する条例の一部改正について	総務文教厚生	3/16	可決
	議案第7号	沓崎市職員の育児休業等に関する条例の一部改正について	総務文教厚生	3/16	可決
	議案第8号	沓崎市特別職の職員で非常勤のもの報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正について	総務文教厚生	3/16	可決
	議案第9号	沓崎市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部改正について	総務文教厚生	3/16	可決
	議案第10号	沓崎市子ども・子育て支援法第87条の規定による過料に関する条例の一部改正について	総務文教厚生	3/16	可決
	議案第11号	沓崎市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正について	総務文教厚生	3/16	可決
	議案第12号	沓崎市国民健康保険直営診療所条例の一部改正について	総務文教厚生	3/16	可決
	議案第13号	第2期沓崎市子ども・子育て支援事業計画の策定について	総務文教厚生	3/16	可決
	議案第14号	辺地に係る公共的施設の総合整備計画（変更）の策定について	産業建設	3/16	可決
	議案第15号	令和元年度沓崎市一般会計補正予算（第8号）	予算特別	3/16	可決
	議案第16号	令和元年度沓崎市国民健康保険事業特別会計補正予算（第4号）	総務文教厚生	3/16	可決
	議案第17号	令和元年度沓崎市後期高齢者医療事業特別会計補正予算（第1号）	総務文教厚生	3/16	可決
	議案第18号	令和元年度沓崎市介護保険事業特別会計補正予算（第3号）	総務文教厚生	3/16	可決
	議案第19号	令和元年度沓崎市下水道事業特別会計補正予算（第3号）	産業建設	3/16	可決
	議案第20号	令和元年度沓崎市水道事業会計補正予算（第3号）	産業建設	3/16	可決
	議案第21号	令和2年度沓崎市一般会計予算	予算特別	3/16	可決
	議案第22号	令和2年度沓崎市国民健康保険事業特別会計予算	総務文教厚生	3/16	可決
	議案第23号	令和2年度沓崎市後期高齢者医療事業特別会計予算	総務文教厚生	3/16	可決
	議案第24号	令和2年度沓崎市介護保険事業特別会計予算	総務文教厚生	3/16	可決
	議案第25号	令和2年度沓崎市下水道事業特別会計予算	産業建設	3/16	可決
	議案第26号	令和2年度沓崎市三島航路事業特別会計予算	総務文教厚生	3/16	可決
	議案第27号	令和2年度沓崎市農業機械銀行特別会計予算	産業建設	3/16	可決
	議案第28号	令和2年度沓崎市水道事業会計予算	産業建設	3/16	可決
	諮問第1号	人権擁護委員候補者の推薦について	省略	3/16	了承
	諮問第2号	人権擁護委員候補者の推薦について	省略	3/16	了承

令和2年度当初予算

総額 321億8,346万円

(対前年度当初予算比 0.1%減)

一般会計 236億4,000万円

特別会計 85億4,346万円

- ・国民健康保険事業 38億7,884万円
- ・後期高齢者医療事業 3億5,178万円
- ・介護保険事業 37億7,748万円
- ・下水道事業 3億3,090万円
- ・三島航路事業 1億2,089万円
- ・農業機械銀行 8,357万円

企業会計：水道事業会計

- 収益的収入 8億3,497万円
- 収益的支出 8億0,215万円
- 資本的収入 2億6,781万円
- 資本的支出 3億4,833万円



私たちの暮らしに身近な事業に注目



● 結婚・出産・子育て・教育の希望がかなう

★子育て世代包括支援センター設置事業 **新規**

事業費 367万円（うち子ども・子育て支援交付金147万円ほか）

事業概要 妊産婦及び乳幼児の実情を把握し、安心して健康な生活ができるよう包括的な支援をするため、吉崎市役所健康増進課内に子育て世代包括支援センターを設置する。妊娠・出産・子育てに関する各種の相談、助言や支援、保健指導、利用可能なサービスの情報提供を行う。

★保育所費（設計・監理・工事） **新規**

事業費 2,999万円（うち過疎債2,840万円）

事業概要 平成14年に設立された武生水保育所について、屋根の老朽化による修理、空調機の改修を行う。

★小学校管理費（設計・監理・工事） **一部新規**

事業費 1億2,551万円（うち学校施設環境改善交付金1,883万円ほか）

事業概要 安全で安心して学べる教育環境の整備充実のため、校舎等の改修を計画的に実施する。

《主な工事内容》

- 田河小学校 屋内運動場外壁、屋上防水改修工事設計業務
- 箱崎小学校 校舎外壁、屋上防水改修工事
- 瀬戸小学校 屋内運動場床等・グラウンド改修工事

★放課後児童健全育成事業

事業費 5,222万円（うち子ども・子育て支援交付金1,741万円ほか）

事業概要 小学校に就学している児童のうち、保護者が労働等により昼間家庭にいない児童に対し、授業の終了後に適切な遊び及び生活の場を与えて、健全な育成を図る。

● 希望の仕事があり安心して働くことができ、起業もできる

★自治体 SDGs モデル事業

事業費 4,922万円（うち地方創生推進交付金 2,277万円）

事業概要 平成30年度に選定された「自治体SDGsモデル事業」として、2030年の吉岐市の将来像の実現に繋げる事業を実施。

- 経済：アスパラハウス栽培における自動灌水システム構築、農産物の6次産業化（規格外品の活用等）
- 社会：市民参加型SDGsイベントの開催、SDGs対話会実施
- 環境：市内中学生を対象とした環境教育プログラムの実施

★SDGs フォーラム開催事業 **新規**

事業費 235万円（うちシンポジウム助成事業補助金 230万円）

事業概要 吉岐市のSDGsの取り組みを市民や企業の方に分かりやすく紹介し、それぞれが当事者意識を持って取り組んでもらうきっかけとする。

また、九州・沖縄地区の所在する地方自治体にSDGsの取り組みを紹介し、SDGsの機運を高める。

★吉岐焼酎知名度アップ事業 **新規**

事業費 200万円

事業概要 吉岐焼酎の知名度アップを図るために、テレビCMやフリーペーパーへの露出、人気居酒屋とのタイアップイベントの開催、お酒を振る舞うイベントへの出店等を実施する際に、事業費用の一部を補助する。

★農村地域防災減災事業 **新規**

事業費 1,600万円（うち農村地域防災減災事業補助金 1,600万円）

事業概要 防災重点ため池に指定される予定の36か所のため池について、ため池決壊時の浸水想定区域図を作成する。さらに、ため池7か所の点検調査を行う。

また、ため池直下に公共施設等が存在する3か所のため池について避難経路図（ハザードマップ）を作成する。

★観光情報多言語化事業 **新規**

事業費 260万円（うち離島活性化交付金 130万円）

事業概要 外国人観光客の受入体制整備の一環として、主要観光地（50か所予定）にQRコードを貼付し、多言語による観光地情報の提供を実施する。



猿岩

★滞在型観光推進事業 **新規**

事業費 2,000万円（うち地域社会維持推進交付金 1,100万円）

事業概要 市事業である特定有人国境離島における滞在型観光に向けた仕組みづくりや情報発信事業を行う。

《主な内容》

- 「大人の修学旅行」をテーマとした観光魅力アップ事業
大都市圏に住む50歳代以上をターゲットとして、本市の持つ魅力的なコンテンツを体験プログラム化し、他にない滞在型の旅行スタイルを提供できる仕組みづくりを構築する。
- 欧米市場向け誘客促進事業
本市の持つ体験・自然・文化を欧米市場に合致したストーリー性を持たせた新たな旅行スタイル提供の仕組みづくりを構築する。

● 地域コミュニティが守られ、安心して健康に暮らせる

★まちづくり協議会設置事業

事業費 1億1,810万円（うち地方創生推進交付金184万円、合併振興基金5,060万円ほか）

事業概要 まちづくり協議会を設置し、協働によるまちづくりを行う。

《主な予算内容》

- 地域コミュニティ仕組みづくりプロジェクト 400万円（50万円×8地区）
- 集落支援員委託費 6,120万円（340万円×18地区）【特別交付税措置】
- 新たな地域コミュニティ準備補助金 240万円（30万円×8地区）
- まちづくり協議会交付金（18地区） 4,662万円



吉岐市で最初の「まちづくり協議会」設立となった三島小学校区

★消防署車両購入事業費 新規

事業費 1億5,235万円（うち過疎債1億4,470万円）

事業概要 現在使用しているはしご車は購入後19年が経過し、性能低下・老朽化がみられるため更新を行い、消防力の充実を図る。

★子ども夢プラン応援補助金

事業費 100万円（うちふるさと応援基金100万円）

事業概要 スポーツ活動や文化・芸術活動等において、熱心に活動している市内の小学校、中学校及び高等学校に在籍する児童生徒に対し、市外での強化練習等に参加招聘されて参加する場合の、旅費の一部を補助する。

● 吉岐への新しい人の流れをつくる

★定住奨励事業

事業費 4,820万円（うちふるさと応援基金4,820万円）

事業概要 UIターン者に対する移住費用の負担を軽減するため、住宅取得、家賃の一部補助、引越し費用の補助等を行う。

《主な予算内容》

- 移住者住宅等支援事業 1,200万円（新築250万円×4戸、中古100万円×2戸）
- 移住費用支援事業 1,000万円（20万円×50世帯）
- 中古住宅改修費用支援事業（移住者） 400万円（100万円×3戸＋加算20万円×5人）
- 空き家バンク改修補助金（所有者） 300万円（100万円×3戸）
- 民間賃貸住宅建設事業補助金 1,200万円（100万円×12戸）

★住宅確保加速化支援事業 新規

事業費 400万円（うち地域創生推進交付金300万円）

事業概要 市から認定された空き家活用団体が、移住者のニーズに沿った空き家を、空き家所有者から借上げ、改修を行い、移住者へ転貸する。

《主な予算内容》

- 空き家活用団体運営経費 100万円
- 空き家改修に要する経費 100万円×3戸



● 自然・歴史文化が融和した持続可能な社会基盤が整っている

★火葬場管理費（工事） **新規**

事業費 1億2,340万円（うち過疎債 1億1,720万円）

事業概要 新施設稼働により、旧葬斎場の解体工事及び外構工事（歩廊、駐車場整備、植栽等の周辺環境整備）を行う。（令和3年度に進入道路改良工事を予定している。）

《主な内容》 ● 吉岐葬斎場外構工事
● 旧葬斎場解体工事（葬斎場、火葬炉、管理住宅）

★クリーンセンター費（工事）

事業費 6,700万円（うち合併振興基金 6,700万円）

事業概要 吉岐市クリーンセンターの施設設備の機能維持を図るため、耐用年数や機器破損具合等により補修が必要な箇所について、年次的な補修工事を実施する。

★避難所誘導標識設置事業 **新規**

事業費 1,658万円（うち緊急防災減災事業債 1,650万円）

事業概要 指定緊急避難場所や指定避難所の位置や災害種別等の情報を示し、地域住民だけでなく観光客等の来訪者が、災害時に迷うことなく迅速に避難できるようにする。

《主な内容》 ● 高輝度蓄光誘導標識の設置 避難所 67か所 × 3台

★住宅建設事業（計画策定・設計・監理・工事）

事業費 4億5,070万円（うち公営住宅建設事業債 2億5,230万円ほか）

事業概要 吉岐市公営住宅等長寿命化計画により、老朽化した市営住宅のストックの効率的かつ円滑な更新を行う。

★エコアイランド推進事業

事業費 2億4,100万円（うちエネルギー構造高度化・転換理解促進事業補助金 2億3,960万円ほか）

事業概要 再生可能エネルギー（太陽光・風力）の導入を促進するため、余剰となる再生可能エネルギーを水素として貯蔵し、必要に応じて再エネルギー化するシステムの島内実用化を図る。

★新船建造事業 **新規**

事業費 542万円（うち離島航路構造改革補助金 500万円）

事業概要 現在のフェリーみしまは、建造から17年が経過し、老朽化により多大な経費を費やしているため、省エネ船舶を建造することで修繕費・燃料費等の経費削減を目指す。まずは新船を建造するための調査費を計上する。

● 協働のまちづくりのもとで効率的で質の高い行政運営が行われている

★ふるさと応援寄附金

事業費 6億2,114万円（うちふるさと応援寄附金 4億円ほか）

事業概要 ふるさと応援寄附者へお礼の品（特産品）を贈呈する。また、お礼の品の宣伝用カタログの作成、各種PR事業を実施する。寄附金は、ふるさと応援基金に積立を行う。

● 目標額 4億円

★地域情報通信推進事業

事業費 1億5,615万円（うち合併振興基金 1億2,150万円）

事業概要 吉岐市地域情報通信基盤施設（吉岐市ケーブルテレビ施設等）に関する施設設備の維持管理及び改修工事を行う。

《主な業務内容》 ● 吉岐市ケーブルテレビ施設の維持管理・改修
● 公共施設等の無線LANの維持管理



委員会レポート



総務文教厚生常任委員会

3月会議で付託された17議案については、全て可決、承認した。

【委員会意見】

議案第12号：これまで直営診療所として、勝本診療所と湯本診療所の2か所を開設し、永年に渡り、それぞれ地域の医療の確保と健康増進に努めてこられた。しかし、近年、利用者の減少と医療体制の維持が人的、経営的に厳しくなり、やむを得ず今年3月末をもって勝本診療所を閉院することとなった。市内の診療体制は偏在化しており、一地区のみに公設の診療所の開設を継続することは不平等と言わざるを得ない。老人福祉施設の嘱託業務を兼務している実情を考慮するも、閉院の方針を早期に検討すべきである。

議案第13号：武生水保育所と僻地保育所、芦辺保育所と八幡保育所、石田こども園と筒城保育所において1人の所長が複数の保育所長を兼務されている。複数の保育現場における子どもの保育環境

や職場環境の把握をすることで責任の所在など一部の職員に過重な負担がかかっているのを、今後、このような環境を改善し適正な管理職の配置と有資格者の人材確保に努めること。

議案第26号：フェリーみしまの更新にあたっては、通常的生活航路としての運航利用計画だけでなく、観光等を含めた航路利用の新たなニーズを呼び起こすためにもフェリーみしま航路事業運営委員会及び三島まちづくり協議会等と将来的な地域の振興策を含め多面的に十分検討し、計画すること。



予算特別委員会

3月議会で付託された令和元年度吉崎市一般会計補正予算及び令和2年度吉崎市一般会計予算について審査し、それぞれ全会一致で可決した。

【委員会意見】

令和2年度吉崎市一般会計予算

- ・イルカパークの指定管理業務については、現指定管理者が2年後に自走する計画の検証と監督に努め、イルカ愛護の取組を進めること。
- ・東京事務所の開設については、首都圏における情報の収集・発信に努め、本市の振興、発展に寄与すべく営業活動

の拠点となるよう他に比類なき活動を展開することを期待する。



産業建設常任委員会

3月会議で付託された6議案については、全て可決、承認した。

【委員会意見】

議案第28号：水道事業において年々、有収率が低下傾向にある。早急に漏水箇所を調査され、有収率向上に向けた施策を講じること。



吉崎市へようこそ!!

令和元年度日本全国の地方議会から、15団体 94人の議員の方が視察に来島されました。

期日	議会名	会派等	人数	視察内容
5月16日	志摩市議会 (三重県)	フォーラム未来	4人	SDGs未来都市・自治体SDGsモデル事業について 吉崎市地域おこし協力隊について iki-Biz吉崎市しごとサポートセンターについて
5月29日	上田市議会 (長野県)	公明党	4人	SDGs未来都市・自治体SDGsモデル事業について
6月6日	富谷市議会 (宮城県)	みらい富谷	3人	吉岐テレワークセンターについて
7月19日	光市議会 (山口県)	至議会	2人	地域ぐるみの防災・防犯体制の取り組みについて 一支国博物館について 議会だよりの編集について
8月5日	福山市議会 (広島県)	公明党	8人	吉崎市いきっこ留学制度について
10月8日	与那国町議会 (沖縄県)	—	12人	人口減少対策（定住促進等）について
10月31日	府中市議会 (東京都)	—	11人	一支国博物館の収蔵庫について
11月18日	対馬市議会 (長崎県)	創政	3人	農林水産業に係る助成事業について 情報通信整備体系について
11月20日	福岡県離島振興 市町村議会議長会	—	12人	第三期吉崎市観光振興計画について 交流人口の拡大方策について 婚活事業について
11月22日	愛知県議会	新政あいち県議団	4人	吉崎市SDGsの取り組みについて
11月25日	丹波篠山市議会 (兵庫県)	公明党 無所属議員	3人	気候非常事態宣言について
1月17日	葉山町議会 (神奈川県)	有志議員団	5人	気候非常事態宣言について 仮称) 吉岐未来都市研究所について
1月23日	弘前市議会 (青森県)	議会運営委員会	13人	議会におけるタブレット端末の運用について 市政一般について
2月12日	宗像市議会 (福岡県)	宗像市政クラブ、 公明党、市民連合	7人	トラフグの養殖について あまごころ市場について
2月13日	結城市議会 (茨城県)	自由クラブ	3人	吉岐活き対話型社会「吉岐(粋)な society5.0」について



行政視察に行ってきました



議 会 運 営 委 員 会

(令和2年2月6日～2月7日)

大分県佐伯市議会

調査事項：議会モニター制度について

議会の傍聴者が少ない状況を踏まえた制度。議会を傍聴していただくことで、活動を知っていただき、関心や理解を深めてもらった方々に率直な市民目線の意見をいただきたいとの思いから、基本条例に盛り込まれている。モニターの任期は2年でモニターの方と年に1回の意見交換をしている。

モニターは、一般モニター（個人20人以内）、団体モニター（30団体以内）。現在は定数を割っており、農業従事者、会社員、自営業等、消防団、区長会連合会、民生・児童員協議会、老人クラブ、PTA連合会、商工会、観光ガイドの会等で構成。一般質問や予算、傍聴者を増やすには等の意見があった。批判的な意見もあるが建設的な意見もある。団体からは観光行政、水道事業について等、所属団体に関する業界要望が多い。

常任委員会等でモニターの意見を聴取することが適当と認めるとき、委員会の協議会に出席し参考意見を述べる。意見は、議会運営委員会において検討し、結果をホームページ、その他により公表する。



佐伯市議会にて研修

大分県中津市議会

調査事項：議員間討議について

議員間討議は、定例会毎に開催。議員が自由討議のテーマ（提案書）を提出し議会運営協議会で議員間討議に値する案件かを協議。案件に値する場合に本会議で開催する。

補足説明は5分程度、発言は1人あたり3分以内、1項目あたり50分以内で議員同士の議論をする。議会運営委員会が決議の具体的内容について協議し、決議案を上程するか諮る。本会議に上程し、可決の場合は執行部に対し政策提言（決議）を提出。否決の場合は廃案となる。議論を尽くし合意形成を行った結果を政策としてまとめ、機関意思として提出する。

議会ですchoolトイレの改修を求め、早期改修を求める決議等を提出したことがある。



説明を受ける委員

【委員会所見】

佐伯市、中津市ともに議会改革、議会活性化に取り組みされており、参考にすべき点が多々あった。

しかしながら人口、面積、自治体規模の観点から両市の取り組みを、そのまま導入することは容易ではなく、本市独自の議会活性化に努めなければならないと改めて考えさせられたところである。

平成24年7月より始めた「議会報告会」も7年16回の開催に至ったが、年々参加者の減少と形骸化が顕著となっており、形態を変えての実施を模索してきた。

今回の視察研修においても、よりよい方策を見出すことができず、継続して研究検討を重ねていかななければならない。

壱岐市議会の議会報告会について

現在、継続して研究検討をしている。平成30年度までは一般市民の方と議会の間で意見交換をした。令和元年度は団体や組織と意見交換を実施し、勝本町の「壱岐マグロ資源を考える会」、「壱岐市社会福祉協議会」との間で意見交換をした。

今後は、視察先と壱岐市の実情を勘案し、より壱岐市の課題解決に対応できる方法を検討し、思考を重ねて、早急に適切な方法を見出したい。



一般質問

8人が登壇 市政を問う

市政全般について個々の議員が自由に質問するものです。掲載内容は、主な質問と答弁の要旨であり、質問者の文責によるものです。

右下のQRコードをスマートフォンなどで読み取ってダウンロードすると、一般質問の音声を視聴できます。

※読み取り方法は、スマートフォン等の機種によってことなります。
 ※ダウンロードすると、通信料が発生します。費用は利用者の負担になります。



久保田 恒憲 議員

質問 海産資源の確保に取り組むべき

答 ウニの養殖研究に取り組む

久保田 近年、ウニの不漁が続き、食を求めての観光に不安が生じているが、対策は。

農林水産部長 議員から紹介を頂いた九州大学水産実験所を訪問して、クローバーを餌にした養殖技術で特許を取られた助教と協議を行い、壱岐のアスパラガスの残渣を活用した研究を検討している。

久保田 助教が事前調査に来島され、壱岐市の種苗設備と職員の熱意に対し、お褒めの言葉を頂いた。他の養殖トラフグ等の海産資源の活用は出来ているか。

農林水産部長 陸上養殖のフグは年間を通して誘客が期待出来るので、観光連盟が民間業者と連携して商品開発に取り組んでいる。市外への販売も強化していきたい。

博物館10周年の取り組みを

久保田 博物館を中核とし、地域活性化を図る「文

化観光推進法」が制定されそうなので、手を挙げて取り組むべきと考える。

企画振興部長 国の認定が必要なので、関係部署と連携を取りながら研究したい。

久保田 このような法は突然出来るものではない。アンテナを張り情報をつかみ、準備することが大事なので早急に取り掛かってもらいたい。

市長 来年度、観光振興計画を策定する予定なので、併せて研究したいと思う。



一支国博物館

東京事務所について

久保田 事務所開設で新たな取組があるか。

市長 現地採用職員が長崎県東京事務所で15年間勤務した人なので大いに期待できる。開設後、様々な取組を進める。

久保田 壱岐出身の社会人、学生等の若い世代にもSNSを活用した情報発信の協力をお願いしたらどうか。

市長 議員の提案を受け入れ、東京在住の方々、壱岐に居るの方々、学生を含め、オール壱岐、ONE・TEAMで取り組みたい。



鵜瀬 和博 議員

質問 新型コロナウイルス感染拡大防止策は万全か。

答 関係機関等連携し、対応している。

鵜瀬 新型コロナウイルス対策本部設置の経過と危機管理課が窓口か。

総務部長 2月25日、壱岐市感染症危機管理対策本部を設置。主管は総務部危機管理課。

鵜瀬 港や空港での水際対策が重要。対策は。

総務部長 九州郵船、ORC等と連携し、消毒液、手洗いの励行、注意喚起ポスターの掲示。

鵜瀬 民間主催のイベントの中止、延期要請は。

総務部長 感染者が市内で発生した場合、要請する。

鵜瀬 公共施設の対策は。備蓄用マスクを配布出来ないか。



総務部長 消毒液の設置、手洗いの励行。備蓄用4,500枚しかなく、公共の場等での活用に限定してい

る。

鵜瀬 小・中学校臨時休業の対応等情報の一元化とQ & A方式で早期発信を。

教育長 各学校と協議し、今後の予定等情報発信に努める。

鵜瀬 市内で発生した場合、隔離病室など病院の受け入れ態勢は大丈夫か。

総務部長 壱岐病院に10床あり、発熱外来から入院までの準備は整っている。状況に応じ迅速かつ柔軟に対応。

鵜瀬 今後の対策は。

総務部長 万全の体制で臨み、情報を一元化し、発信する。

災害廃棄物処理計画の策定を

鵜瀬 災害が頻発する中、大量の災害廃棄物が復旧の妨げになり、その取り扱いが課題。災害時、現場が混乱しないよう処理計画の策定を。

副市長 令和元年度中に策定する。

鵜瀬 策定後は訓練も重要。関係者による訓練、意見交換の実施を。

副市長 関係機関と協議し、訓練計画の策定と連携強化に向け、今後整備する。



清水 修 議員

質問 風民の郷周辺の活用は

答 補助金終了後に協議する

清水 滞在型観光の推進においてスポーツ合宿が五島市に比べ少なく感じるので次の3点を伺う。①スポーツ合宿の現状と課題は。②風民の郷周辺の活用は検討できないか。③推進のために必要な施設や環境の整備の意向は。

企画振興部長 ①今年度は三菱電機コアラーズと活水女子大陸上部が2回。筒城浜やゴルフ場での走り込みは高評価だが、トレーニングマシンの機能と機材不足が課題。②古墳群は民有地が多いため検討していない。生池城跡は風土記の丘への来場者に、ウォーキングのお勧めオリジナルマップを作成して紹介している。③今後は、幅広い活用ができるように関係機関と協議して施設や受け入れ環境整備に努める。

清水 風民の郷施設の合宿所活用と周辺の活用について提案する。

企画振興部長 どのような活用ができるかは研究が必要であり、現在は指定管理の補助金があるので、終了後に担当部署と協議する。

運転免許返納者への支援について

清水 高齢者の自動車運転での交通事故に対するサポート制度は進められているが、免許の自主返納者への支援の現状は。

総務部長 高齢者の運転免許証返納に対する支援は、65歳以上で運転免許経歴証明書の交付を受けられた方へ、タクシー料金1割引と交付手数料(1000円)の全額助成がある。

清水 免許返納者へのシニアカーの補助の検討は。

保険課長 シニアカーの利用については、介護保険制度において要介護2以上の認定者の方に介護保険給付の対象になるが、介護認定がなければ給付の対象にならない。

市長 今の段階で、シニアカーについて補助を出そうという考えはもっていない。今後は、地域公共交通との問題とあわせて、まちづくり協議会での研究や協議を進めながら制度を考えていくことになると思っている。



市山 繁 議員

質問 感染者予防対策について

答 事態が悪化すれば政府、国、県の指示で対応

市山 福岡にコロナウイルス感染者が発生。対岸の火事ではない。万が一、壱岐市で感染者が出た時の対応は。

総務部長 今後、事態が悪化すれば、政府、国、県の指示に基づき壱岐市も対応する。

旧芦辺中学校跡地の有効利用について

市山 旧芦辺中学校は昨年11月に新校舎へ移転開校されたが、旧校舎は解体される計画である。以前要望した跡地利活用の取組について。また、今後の計画について。

教育長 現在、旧校舎の建物は解体設計が完了し、解



旧 芦辺中学校

体工事の入札、発注準備中である。5月を目途に解体し、更地化の計画をしている。跡地利用は更地化された後、状況を見ていただいて、管理設計の基本方針に基づき、引き続き跡地利活用の検討を進める。

壱岐市内の防災減災の調査について

市山 政府は近年の集中豪雨による災害に対し、防災減災に多額の予算計上をして閣議審議を行っているが、壱岐市の防災減災調査について。

建設部長 建設部所管の施設では1級、2級、その他市道を合わせ3,927路線、総延長1,329Kmを管理している。本年度の壱岐市国土強靱化地域計画の策定により、今後も予算確保に努め、防災減災に取り組む。

農林水産部長 壱岐市のため池台帳に登載されている191か所について、平成25年～27年の3年間でため池の機能診断を行っている。平成25年度から県営事業により年次的に整備を実施している。ハザードマップの配布や市のホームページに掲載し、市民に防災意識の向上を図っていく。



土谷 勇二 議員

質問 壱岐市でのマイナンバーカードの普及率は

答 県下で4位の普及率

土谷 マイナンバーカードの活用消費活性化策は、令和2年7月からマイナポイントの利用、令和3年3月からは健康保険証としての利用が始まる。そのためマイナンバーカードを取得する必要があるが壱岐市の取組は。^{*}マイキープラットフォームの運用は。壱岐市のコンビニで住民票は取れるのか。

総務部長 壱岐市では2月16日現在、交付枚数4,903枚、交付率が18.3%となっている。国、県から市町村に対してマイナンバーカード取得とマイキーIDの設定へ支援等を推進するように要請があった。マイナポイントを利用するにはマイキーIDを設定する必要があり、自分のパソコンやスマートフォン、市役所に備え付けの端末でもできる。令和2年度消費活性化策、令和3年3月からマイナンバーカードで健康保険証利用が始まるので、マイナンバーカード申請について周知して、引き続き普及に努める。マイキープラットフォームは子育て支援に利用してい

る。市民ニーズを把握しながら新たな活用を検討したい。住民票については、壱岐市のコンビニではまだ取れる状況ではない。

環境問題について

土谷 未来都市の取組の一つである気候非常事態宣言を行ったが、新たな取組はあるのか。

副市長 新たにペットボトルキャップの回収を始めた。4Rの徹底やレジ袋使用を減らし、マイバック持参などを、全戸に配布している「分別のしおり」に追加した。

土谷 2030年に向けた低炭素、水素社会に向けたビジョンは。

総務部長 今年度の実証システムを導入して、実証事業に入る見込み。水素エネルギー利用も設備導入等コストが高い。商用として普及するまでには今少し時間を要する。

※マイキープラットフォーム：

マイナンバーカードを活用して、行政だけでなく色々な私たちのサービスが受けられるようにするための共通情報基盤。



赤木 貴尚 議員

質問 壱岐葬斎場の改築について

答 4月1日「ひなたの丘」として業務開始

赤木 壱岐葬斎場は、昭和62年（1987年）8月に火葬炉3基を備え築33年。改築に関して工期の遅れ等の問題点はないか。工事の進捗状況の説明と、改築後の新しい業務運営の内容の説明を。

副市長 改築工事は周辺地域の皆様のご理解、ご協力をいただき、現在地での建て替え工事契約を昨年4月16日に議会の議決を受け、令和2年1月10日を工期として着工。追加工事の必要が生じ、増額及び工期を令和2年2月28日に変更する件を議会で議決。その後、2月14日付で建築主体工事受注者より3月24日までの工期延長申込書の提出がなされたが、精査の上、工事延長理由には該当しない為却下し、1日でも早く完成をさせるように指示。

改築した壱岐葬斎場の呼称を周辺地域の皆様からの公募で「ひなたの丘」と決定し周辺地域の皆様に3月29日内覧予定。4月1日業務開始。

新年度からの管理運営体制は公募型プロポーザル

で決定した火葬炉設置業者に委託し、良好な運転管理・施設サービスを行ってもらう。3名体制（雇用は地元から）常時2名勤務体制。

斎場は単に火葬を行う場だけでなく御遺族にとって最後のお別れの場である。火葬業務の執行にあたっては、葬儀慣習や御遺族のお気持ちを意識した厳粛な対応を求められるので、質の良いサービスの提供を目指してまいりたい。



業務を開始した「ひなたの丘」

壱岐市民が亡くなられた時の手続きについて

赤木 特に煩雑な死亡時等の手続きの負担軽減に再度取り組んでは。

市民部長 各種手続きは各支所、湯ノ本、箱崎、那賀の3事務所でも対応可能。

壱岐市としても、これまでも改善には努めてきたが、今後とも出来る限りの住民サービスの向上に努めてまいりたい。



音嶋 正吾 議員

質問 総合計画は自治体羅針盤

答 官民一体となり策定

音嶋 地域の資源を活用し、自主性や独創性を発揮した市民協働の計画にすべき。

企画振興部長 市民の意見を反映するため、市民、事業所、高校生にアンケートを実施して、幅広い意見を聴取した。



第3次 壱岐市総合計画

音嶋 コンサルタント業者への委託業務が多々あるが、計画業務委託していないか。

企画振興部長 委託業者に若干のたたき台は挙げてもらったが、最終的には審査会から素晴らしい計画の答申を頂き策定に至った。

実績強調すれど市民所得は減少

音嶋 合併特例債という優位な資源を生かして、箱物行政は推進した。核となる産業振興策は後手になってはいないか。

市長 合併特例債は新市町村計画に基づくハード事業整備の財源である。159億4000万円の発行限度額いっぱい充当する。

音嶋 ケーブルテレビ指定管理者移行に1億7,125円の税金を投入する事態をどのように説明責任を果たすのか。

市長 契約書は完璧であったと考えている。法律の壁に阻まれ、苦渋の決断で和解した。





山川 忠久 議員

質問 新型コロナ感染が疑われる場合の行動は

答 保健所に電話を

山川 新型コロナウイルスに感染したと疑われる場合どうすればいいか。

副市長 壱岐保健所が相談センターとなっているので電話を。市のホームページやケーブルテレビなどを参考に正しい知識を持って対応していただきたい。

山川 ホームページの掲載については、少し分かりにくいと思う。SNSなども活用してより分かりやすい情報発信を。

HPV ワクチンについて

山川 子宮頸がんを予防できるとされるHPV ワクチンは、積極的勧奨を中止している状況だが、それを見直すような動きが国会や県議会でも出始めている。壱岐市の現況は。

副市長 今年度壱岐市でHPV ワクチンの接種実績は

なし。接種後の副反応の対応について島内に専門機関がないため、今後勉強会を開催予定。

山川 勉強会について詳しく。

健康増進課長 予防接種には効果とリスクがある。医師会にご協力をいただき、国の方針など見極めつつ、接種後の副反応などのリスクを最小限に抑えるための勉強会をしたい。

市長 SDGs で目標とされる健康と福祉の増進や*ジェンダー平等に深く関わっていると考える。取り残される人のないような社会をつくっていきたい。

新型コロナウイルスに関する情報
(壱岐市ホームページ)

*ジェンダー平等：

社会的・文化的につくられた男女の役割は、性別に関わらず全ての人にとって平等である、ということ。

市民の声
「議会だより第64号」
クイズ応募者よりいただいた
ご意見ご感想です。

● 人口減に悩む離島。壱岐市も然りです。毎朝新聞の死亡欄を見てはびっくり。どんどん人口減が進んでいる様で心配です。(67歳)

● 壱岐の周りも磯焼け被害があつて深刻です。
● 市、県として早急な対策を願います。(46歳)

● 若い人の働ける場所が増えるといいなーとねがっています。(70歳)

● 兄が4月から進学で壱岐を離れます。
● 大学が島外だから壱岐からしっかり応援します。(15歳)

● 今回、本土通院等療養制度を使うことになり、離島民にとって有難い制度だなと改めて思いました。(52歳)

海豚鼻

クイズに答えて図書カード(1,000円)が当たります。
皆様のご応募待ってま〜す!!

議会だよりクイズ

この議会だよりの中に
答えがありますので、
最初から最後まで良く
読んでみてください。



沼津小学校卒業生



Q1 第2期吉崎市子ども・子育て〇〇事業計画を策定

Q2 〇〇アイランド事業で再生可能エネルギーの導入を促進

Q3 令和3年〇月からマイナンバーカードが健康保険証に

第64回クイズの答え

- ① 猿岩
- ② 東京
- ③ 崎山

第64回クイズの当選者

吉永 香代子 様
 山川 清子 様
 坂口 ミツエ 様
 永田 由美子 様
 長島 絹子 様
 おめでとうございます!

《応募方法》 クイズの答え・住所・氏名・年齢をお書きのうえ、ハガキでご応募ください。

議会だよりを讀んだ感想や、市政へのご意見・ご要望などお書き添えください。

ご意見などは、「市民の声」のコーナーで、できるだけご紹介させていただきます。

正解者の中から、抽選で5名の方に図書カード1,000円分をお贈りします。(当選者の発表は次号に掲載)

《あて先》 〒811-5521

吉崎市勝本町西戸触182-5 吉崎市議会事務局宛

《しめきり》 令和2年5月31日(当日消印有効)

《個人情報の取り扱いについて》

ご記入いただきました個人情報は、賞品発送・当選者発表及び『市民の声』等の目的以外には利用いたしません。

編集後記

コロナウイルスが心配な毎日です。

春を迎え、卒業・入学の季節になり、卒業式・入学式の開催が心配されました。

子どもたちの思い出に残る式であったならばと思っています。

この広報誌が皆様の手元に届く頃には、コロナウイルスが終息していると思います。

中田 恭一



議会広報特別委員会
 委員長 植村 圭司
 副委員長 山川 忠久
 委員 山内 豊
 清水 修
 久保田 恒憲
 町田 正一
 中田 恭一

お知らせ

吉崎市ホームページ

<https://www.city.iki.nagasaki.jp> の市議会のインデックス(見出し)を検索すると、市長行政報告及び議員の一般質問の音声を生で聞くことができます。また市議会会議録は、議会事務局・市役所郷ノ浦庁舎(総務課)・各庁舎(市民生活班)・各図書館で閲覧できます。ご利用ください。



公職選挙法の規定について

お中元・お歳暮や、祝儀・見舞い等の金品を送ることや、暑中見舞い・年賀状などの挨拶状や有料の広告は禁止されております。

市民みなさまのご理解とご協力をお願い申し上げます。
吉崎市議会議員一同

発行責任者 議長 豊坂敏文
編集 議会広報特別委員会

〒811-5521

長崎県吉崎市勝本町西戸触182-5

TEL : 0920-42-1114

FAX : 0920-42-0096

【E-mail】 iki-gikai@city.iki.lg.jp

【URL】 <https://www.city.iki.nagasaki.jp/>



吉崎市議会だよりは地球に優しい植物油インキで印刷されています。